

11. 9. 8
277号

大正十二年九月五日

兵庫縣

神戸製鋼鉄廠年豫之件

一 罷業(因)ノ動靜

休戦状態ヲ維持スルノ爲メ、行商ニ及ハ他、一時的強硬之ヲ計画
 中ニテ初意費徴ヲ要望シテ又柴田主務ハ経事ノ代表者ヲ選定
 シ交渉セシムル迄ニ主簿者ノ下ニ職有サル、選ルニシテ些ヤ反影ナキヤ
 是ノ後ハ特殊ノ方法ニ依リテ時ニ演説會、登山、神社参拜等ノ各自
 クシテ統率ヲ維持シ、去月十一、十三日大阪ニ於テ日有労働同盟大會
 ヲ後テ争議短利演説會ヲ開催スル意志ヲ有ス、
 四日職工ノ入場時間ニ際シ職有職工ヲ名通門前ニ於テ口ニヤラセト

財團 労働 組合

加ヘ見、他工場ハ九ノパーセントノ増産ヲ示シ別ニ
 秋葉ノ如ク増産ニシテハ、多クハナシ

三日ハ日曜ニシテ公休日ニ當リ、増産各段ニ七。各内外、何
 レニ親役ニ従フコトナシ

一 各社側ノ態度

今迄今後ノ急務ヲ内憂スルニ當ルハ比行放債ニ
 元ノ平規ノ内憂者ヲ見ズ、依テ年終迄増産ニ於
 テハ已メテ増産ノ体案スルノ外途ナシト懸念頗ル

強硬ナリ